



1



2



3



4



5



6



7

1 調理の手順を英語で確認しながら、カレー作りを体験 2 アルファベットを集めて単語を作るスタンプラリー 3 4 英語体験ブースでは空港や買い物などの場面で「3日間滞在する」「この野菜が欲しい」といった会話に挑戦 5 英語のボードゲームをみんなで楽しむ 6 イヤホンマイクを着けてリスニングやスピーキング試験を体験 7 市の英語教育への取り組みをパネル展示で紹介

10月27日、愛宕スポーツコンプレックスカルチャーセンターで「英語交流のまち推進フォーラム イングリッシュパーティー・イン・岩国」が開催されました。子供たちに楽しみながら英語に親しんでもらおうと開催されたもので、家族連れなど約1200人が訪れました。

参加者は空港や買い物、病院でのやりとりを英語で体験したり、タブレット端末を使って英語力を測る模擬試験を受けたりしました。

英語交流のまち推進フォーラム English Party in IWAKUNI

エリック・ジェイコブセン氏によるコンサートでは、英語で歌いながらみんなで体を動かし、会場は大いに盛り上がりました。続いて大手予備校講師の安河内哲也氏による講演では、英語が話せるようになる勉強法などが紹介され、学生や保護者たちは熱心に話を聞いていました。

市は今後も、英語の学びや国際交流の機会を充実させる取り組みを進めていきます。

国際英語教育推進室
☎(29)5201

楽しく英語を体験しよう

市政 PICK-UP



UP ! UP !

NHK教育番組でおなじみの
エリック・ジェイコブセン氏



英語で自分の考えを伝えるときは、文法の正しさを気にし過ぎず、まずは滑らかに話すことを意識しましょう。



安河内哲也氏

講演会では、英語で議論する演習も行われた



広報いわくに

4

岩国初の統一ブランド

10月30日、岩国錦帯橋空港で岩国初のお土産統一ブランド「つまんでちょんまげ」の発表会が行われました。

つまんでちょんまげは、市と市内事業者9社が協力し、観光消費額単価が少ない岩国のお土産市場の拡大を狙い考案されたものです。岩国の日本酒に合うおつまみを目指し、岩国れんこんや天然鮎など市の特産品から作られた商品が全部で12種類開発されました。

発表会では福田良彦市長をは



市長は商品開発に携わった事業者とともに、略称「つまちゃん」をPRした

「つまんでちょんまげ」発表会

じめ、携わった事業者らがあいさつし「多くの人につまんでもらえる、選んでもらえる統一ブランドにしたい」「今後も種類を増やしながらいよいよものを届けていきたい」と思いを語りました。

これらの商品は、空港内の売店で11月29日まで行われたテスト販売の結果を基に改良を重ね、首都圏への市場展開も視野に入れ、市を代表するお土産品となることを目指します。

岡商工振興課 ☎(29)51110



トレードマークは「日本酒が好き過ぎて、ちょんまげがとっくりになった侍」のパッケージ

アートと歴史と伝統の融合



幻想的な炎の揺らめきの中で、木造橋が持つ本来の美しさが、人々を時空を越えた神秘の世界に誘う



「見つめる」「みがく」「ぬる」の3つのワークショップの1つ、色を塗った紙を貼り付けてシロヘビを龍にする

11月8日から10日までの3日間、錦帯橋周辺で、錦帯橋芸術祭が開催されました。

さまざまな芸術や伝統文化と一体になることで、錦帯橋の魅力をさらに高め、発信することを目的に行っているもので、今年で4回目の開催となります。夕刻、辺りが薄暗くなり篝火（かがりび）がともされると、炎の明かりで錦帯橋が幻想的に照らし出されました。刻々と移り変わる夕暮れの空を背景にした趣ある姿に、多くの人が見入っていました。

錦帯橋芸術祭

だいたいいろ 橙色に染まった錦帯橋上では岩国市歌の合唱、河畔では岩国行波の神舞の神楽、玖珂太鼓の演舞、筑紫琴風会（ちくしきんおうかい）の邦楽演奏が行われ、辺り一帯は文化の香りに包まれました。

周辺の美術館・博物館が開館時間を延長し、館内で音楽ライブを行ったほか、日中は子供でも手軽に芸術を楽しめるさまざまなワークショップや写生大会、お茶会などが開かれ、約6千人が芸術祭を楽しみました。

岡文化振興課 ☎(29)52111